

会員広場

アフリカに暮らして 中谷泰子

横浜に生まれ育ち動くことがあまりなかったが、商社マンの主人と結婚を機に縁あって西アフリカ・ナイジェリアのラゴスに二年三カ月滞在したことがありました。八歳を頭に三人の男子を連れ、二十七時間かけ広いサハラ砂漠を越えやつと着いたラゴス。飛行機のタラップを降りるなり、暑い熱風で眼鏡がくもり身体じゅうから汗が吹き出し、赤道直下であることを実感しました。

夫の出迎えを受け外人居住区の家にくくと背の高い現地の男レオさんがいて、彼が家事すべて料理以外(料理は自分で作っていた)引き受けてくれることから大分家の労働から解放されましたが、ライフラインは滅茶苦茶、停電、断水は日常茶万事、こんな大変な国でやつていけるか心配でした。しかしどんなに不自由、困難な中でも馴れるもの、テニス、プール、手芸など友人達と楽しむことができました。

初めの頃食べることに苦労、豆腐などの加工食品がなく、魚は切り分け、鳥も一羽を解体、菓子類も手造りという状態、何でも手造りしていくうちに手造りの良さが身



ケニヤ・マサイ族のビーズの首飾り (民芸品)



ナイジェリアの彫刻家 A・FAKEYE氏の木彫(注文して購入)

に付き、今でも味噌はじめ出来る限り食品の手造りを楽しんでいます。

同じマンションにはイギリス、イタリア、インドの方達がいて、同じフロアのインド大使館勤務の夫人サロージャとは一緒にお茶、食事、料理作りばかりか英語まで教えてくれ、日本人以上に日本人らしい彼女と一番の仲良しでした。

ある日支店長のお嬢様が日本から父親に会いに来られ、我が家にも来ることにになり、どのようにおもてなしをするか思案していたら、ご挨拶が済むなり、ベランダいっぱい見事に咲いたブーゲンビリアを描きたいと、美大で日本画専攻の彼女は黙々と長いことデッサンしていました。

絵が描けるって素晴らしいと、私も絵が好きなのにドキッと閃光を浴びたようで帰国後油絵を習うきっかけを作ってくれた方でした。

ラゴス滞在の任期終了後、帰国前にケニヤ・ナイロビより奥地、野性動物がいる自然保護地帯で過ごせたことは、一番アフリカらしく良い記念と喜んでいきます。人との付き合い、料理、絵を描くことなどアフリカの生活が今も私の財産となっています。

那須高原から 戸川昌子

私の住む栃木県那須高原の三月はまだまだ寒い日が続く、雪の日もあります。春の訪れは待ちどろしい限りです。庭の草花はまだ芽吹いていませんが木々の梢は少し薄紅色となり、春が近づいていることを実感させてくれます。桜が咲いたらスケッチに出かけたいと心の中で予定しています。昨年から描きかけの風景画も仕上げたいと思っています。

新日美展には一昨年、昨年と続けて窓辺の静物を描き出品しましたが、昨年は思いがけなく奨励賞を頂き夢のような嬉しい思いをいたしました。今年もやはり同じテーマでアトリエの窓辺に好みの静物を並べ描き始めています。



第39回新日美展で奨励賞を受賞した戸川さんの作品

窓の外の空気感と室内の光と影をどのように表現しようかと悩みながら描き進めています。

さて、栃木県では昨年、支部が発足し今年の三月七日から五日間第一回支部展が開催され多くの人が来館されとても感激しました。今回一般参加の人の中で新日美展への出品があれば期待しています。

もうすぐ春ですこれから沢山絵を描きながら過ごしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。

絵を描く喜び 山口香代子

絵が素晴らしく面白く、人生をこんなにも豊かにしてくれるものだと思わせてくれたのは今から三年前のことです。

いたずらに描き程度の絵はときどき描いてはいたのですが、本格的に、ましてや公募展に出してみようなどの考えは三年前では及びもありませんでした。

夫が私との生活の中でチラ見していたのでしょうね。私の絵を見ながら「お前の絵と色は誰にでも描けるものではない」と、とんでもないことを言い乍ら、キャンバスと絵具を買ってきたのです。

生れてはじめての自分のキャンバスと絵具。ワクワクしました。なんで、こんなに心踊るのか解りませんでした。「家事は一切しなくていいからそのキャンバスに色を落

として描きたい絵を思いっきり描いて「あら」と夫は言いました。子供の遠足の前日みたいです、うれしくて嬉しくて。きつと私の目はキラキラ輝いていたことでしょうか。



第39回新日美展で特選賞を受賞した山口さんの作品

絵がこんなに私を夢中にさせ人生バラ色に思わせてくれるなんて。夫に感謝の気持ちでいっぱいです。

私は絵を描く喜びを知っただけでも十分なのに、夫は「新日本美術協会の募集に出してごらん」とここに「こしな」が薦めてくれたのです。まさかと思いましたが、絵を描き始めてまだ三年目です。でも私は勇気を出して挑戦したのです。

どうしましょう。そんな私が新日本美術協会の公募展で特選賞を頂いたのです。

私は幸せです。全てに心から感謝です。夫に抱きついて、「ありがとう」と伝えました。夫は「ともうれしそうでした。私はこれからも描き続けます。」

新日美の皆さま様本当にありがとうございます。